

ネパール政治ニュース（17年10月）ヘッドライン

| 政 治 |  |
|-----|--|
| 内政  | <p>(1) 3日、ネパール共産党統一マルクス・レーニン主義派（CPN-UML）、ネパール共産党マオイスト・センター（MC）及びナヤ・シャクティ（NSP-N）の3党が、来る連邦下院選挙及び州議会選挙における選挙協力を発表した。</p> <p>(2) 3日、ダハルMC議長は、連邦社会主義フォーラム・ネパール（FSF-N）のヤダブ党首に対し、左翼連合の選挙協力に参加するよう打診した。</p> <p>(3) 4日、NCをはじめとする6党（ネパール कांग्रेस（NC）、国家国民党（RJP-N）カマル・タパ率いる国民民主党（RPP）、パシュパティ・シャムシェル・ラナ率いる国民民主党（民主）（RPP-D）、連邦社会主義フォーラム・ネパール（FSF-N）、マデシ人権フォーラム（民主）（MJF-L）は、首相公邸にて会合を行い、連邦下院選挙及び州議会選挙に向けて、民主勢力による選挙協力関係を結ぶことに合意した。</p> <p>(4) 5日、デウバ首相は、与党であるMCが野党のUMLと選挙協力を発表したのを受け、MC所属の大臣の罷免を検討している。</p> <p>(5) 6日、ヤダブFSF-N党首は、左翼連合に参加しない旨述べた。</p> <p>(6) 8日、立法議会において、大統領及び副大統領選挙に関する選挙法が成立した。これによると、大統領及び副大統領は、連邦下院議員550名、連邦上院議員59名、州議会議員550名の選挙人団によって、選出される。</p> <p>(7) 10日、NC等と選挙協力を組んだRJP-Nは、NCに対し、連邦下院選挙の55小選挙区、州議会選挙131の小選挙区において、RJP-Nから民主連合の立候補者を出すことを要求した。</p> <p>(8) 10日、UMLは、連邦下院選挙において、シニア・リーダーが立候補する小選挙区を決定した。オリUML議長はジャパ第5区、カナル元首相はイラム第1区、ネパール元首相はカトマンズ第2区から立候補する。</p> <p>(9) 14日、ビジャヤ・クマール・ガッチャダール率いるネパール民主フォーラムがNCに吸収合併された。</p> <p>(10) 15日、ナヤ・シャクティは、左翼連合との選挙協力を中止し、NC等と選挙協力を行うことを決定した。</p> <p>(11) 22日、第1回連邦下院・州議会選挙の小選挙区における立候補者の受付が22日～25日までの日程で行われた。</p> |
| 外交  | <p>(1) 7日、第5回ネパール・インド賢人グループ会合が開催された。1950年に締結されたネパール・インド平和友好条約、水資源、貿易、通過</p>  |

|  |             |
|--|-------------|
|  | 等について議論された。 |
|--|-------------|